



学校だより

佐渡市立両津吉井小学校

令和4年9月1日

<9月号>

地域への貢献

校長 後藤 修治

34日間の夏休みも終わり、2学期がスタートしました。休み中静かだった学校に、子どもたちの元気な声に戻ってきて、とてもうれしく思います。

今年の夏休みは、コロナ禍ではありましたが、島内各地で3年ぶりにお祭りや花火大会などのイベントが開催されました。また、報道では「行動制限のない夏（お盆）休み」という言葉がよく使われていました。廊下に掲示してある子どもたちが書いた夏休みの思い出日記を読むと、お祭りに行ったり、花火を観たり、親戚の家族が遊びに来たりと子どもたち一人一人が楽しい夏休みを過ごしたことが伝わってきます。過去2年の夏休み、我慢していたことがたくさんあった分、喜びも楽しみも倍増したのではないのかなと思います。

県内各地においても、お祭りなどのイベントが開催されました。日本三大花火の一つである長岡祭り大花火大会も3年ぶりに開催されました。私は、テレビの生中継でその様子を観ていました。テレビで観ても、その美しさや迫力が伝わってきました。それに加えて、この花火にかける人々の思いも伝わってきました。それは、花火大会前に、あるテレビ番組で長岡花火にかけるいろいろな人の思いを知ったからです。花火師の方々、長岡空襲や中越地震からの復興に携わってこられた方々、長岡祭り実行委員会の方々、長岡市民、そして、全国の長岡花火を愛する方々など。多くの人々の期待や思いを乗せて打ち上がった花火は、テレビで観ても感動を与えてくれました。

島内におけるお祭りや花火も、3年分の思いが詰まっていたことと思います。両津七夕川開き祭りもその一つだったのではないのでしょうか。今年は、鼓隊パレードも開催されました。コロナ禍ではありましたが、実行委員会の方々の開催への思いが伝わってきました。学校としても、お祭りを盛り上げるために、また、お祭りを見に来られた方に元気を届けられるように、ぜひ参加したいと考えました。子どもたちにとっても、両津吉井小の鼓隊演奏（発表）を観ていただける大事な機会でもあります。

8月6日のパレードでは、子どもたちは、堂々と立派に演奏を発表してくれました。6年生以外は初めての経験です。演奏前は緊張した様子でしたが、演奏を終え拍手をもらった表情は、やり終えた充実感と喜んでもらった満足感でいっぱいの様子でした。当日は、たくさんの保護者やご家族の皆様から演奏を観にお越しいただきました。ありがとうございました。



学校は地域の方々からたくさん支えていただいています。鼓隊パレードへの参加は、その地域への貢献活動の意味もあると考えています。今後も、地域のために学校は何ができるのか考えていきたいと思っています。